



# 静岡市立横内小学校

## 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年9月26日(火)

「やはり、一人ひとりが体験できたことが大きな魅力です。」

静岡市立横内小学校の6年生116人が、社会科の歴史体験講座として、狩猟・石器時代および土器を使用していた時代について、体験を通して理解を深める目的で、職業講話と、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの3つの体験を行いました。

### 職業講話(発掘調査と保存処理の話)

埋蔵文化財の話をしなが、発掘調査や保存方法の仕方など、埋蔵文化財センターの仕事内容を紹介しました。また、横内小学校周辺にも遺跡があることを紹介すると、とても驚いていました。



「木簡が静岡の東海道跡でも発見されてすごいと思った。身近なところに遺跡があるんだとわかった。」



### 土器の分類体験

縄文土器・弥生土器・須恵器の3種類の本物の土器を触って、それぞれの土器の特徴を理解して分けました。土器を実際に見たら、イメージと違っていたらしく、写真ではわからないことが発見できたようです。

「土にいろいろな物を混ぜて焼くと強度が増すことが分かった。」「登り窯は高温で焼けて、堅くなることが分かった。」



### 石器の試し切り体験

「サクサク切れて、すごく楽しかった。」「肉を切るときは大変なんじゃないかなあと思った。」

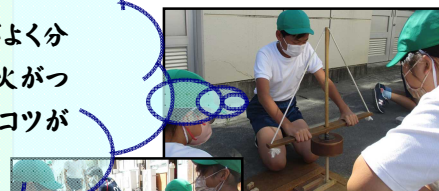
打製石器、磨製石器、黒曜石の本物を見て、触って、石の違いや使い途などを学びました。黒曜石の切れ味に驚き、昔の人も工夫して生きていたことを感じ、歴史に興味をわいたようでした。



### 火起こし体験

もみきり法や弓きり法などの火起こしの歴史について簡単に伝え、舞きり法でのやり方を説明しました。弾み車を調子よく回せなくて、すぐ止まってしまう困る子もいましたが、慣れてくると火種を作ることができました。フーフータイムで火種を飛ばしてしまう子もいましたが、班で協力して火を起こすことができました。

「昔の人の工夫がよく分かった。なかなか火がつかなかったけど、コツがあるんだと思う。」



### 先生方の感想

「復習という形で今回は行いましたが、歴史の学習が進んで、あらためて縄文・弥生・古墳時代を振り返り、理解を深めることができました。やはり、一人ひとりが体験できたことが大きな魅力です。身近な物を活かして道具を作ろうとしていた先人の知恵を、体験を通して知ることができました。子どもたちにわかりやすく、また図・イラスト・写真等をご用意いただいたことで、よく理解できたと思います。昨年に引き続きありがとうございました。大変有意義な学習活動となりました。」

